

## ゲストスピーカーのご紹介

Mr. ジェラッド・ミニック



### 略 歴 :

2002年3月～	ミズーリ大学（ミズーリ州）卒業、植物科学&芝草管理を専攻
2007年2月～	カンザスシティ・ロイヤルズ（MLB） グランドマネージャー カンザスシティ・ウィザーズ（MLS） 管理担当取締役 （現、スポルティング・カンザスシティー）
2009年2月～	メリーランド・サッカープレックス グランド&環境管理担当取締役
2014年3月～	グローイング・イノベーションズ 代表



ミニック氏は、ミズーリ大学で植物科学・芝草管理の学士号を取得後、2002年からカンザスシティ・ロイヤルズ（2015年のMLBワールドチャンピオン）の本拠地カウフマン・スタジアムで5年間勤務。

2007年からMLS所属のカンザスシティ・ウィザーズで勤務し、当時NFLのカンザスシティ・チーフスと共同利用していたアローヘッド・スタジアムや独立リーグベースボールのコミュニティアメリカ・ボールパークで、多種多様な使用状況での芝草管理を行う。

2009年から米国首都ワシントンに位置するサッカープレックスで全フィールド施設管理の指揮を執りました。ここは、現在NWSL（ナショナル女子サッカーリーグ）のワシントン・スピリットが本拠地としています。男子・女子サッカーをはじめ、ラクロスなどの試合も行われています。合計24面（天然芝21面、人工芝3面）を有し、年間4,500試合、利用者数は60万人を超えるアメリカ東部のプレミアム競技場の代表格です。

### グローイング・イノベーションズについて :

ミニック氏は、野球場の管理をはじめ、サッカー、アメリカンフットボール、ラグビー、ラクロスなどあらゆる競技場の管理に深くかかわってきましたが、2014年より“グローイング・イノベーションズ”というコンサルティング会社の社長として、国際的に活躍しています。

米国のスタジアム管理責任者に加え、レアル・マドリード、アーセナルFC、マンチェスター・ユナイテッドFC、マンチェスター・シティFCを始め、欧州プロサッカーリーグ

スタジアム責任者との協調を通して、管理技術の革新的な発展を進めるための活動を盛んに行っています。

